

男性のワーク・ライフ・バランスを考える ～「知る」から「動く」へ～

「働き方改革」や「女性活躍推進」が進む今だからこそ、男性のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を見直そう!



Q

「表紙の数字が表すものは?」

5.14%

A

男性の育児休業取得率

民間企業における育児休業取得率は女性が83.2%であるのに対し、男性はわずか5.14%

※厚生労働省「2017年度雇用均等基本調査」より

83分

A

6歳未満の子供を持つ夫の1日の家事・育児時間

“イクメン”、“カジダン”が増加しつつあるが、先進国と比較すると日本は最低水準の83分(例:フランス150分、アメリカ190分、スウェーデン201分)

※Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2016) 及び総務省「社会生活基本調査」(2016年)より

87.1%

A

夫の休日の家事・育児時間が6時間以上の夫婦の第2子以降の出生率

夫の休日の家事・育児時間が2時間未満の場合は32.8%

※厚生労働省「第14回21世紀成年者縦断調査(2002年成年者)」(調査年月:2015年11月)より

男性のワーク・ライフ・バランスが急務じゃっど!

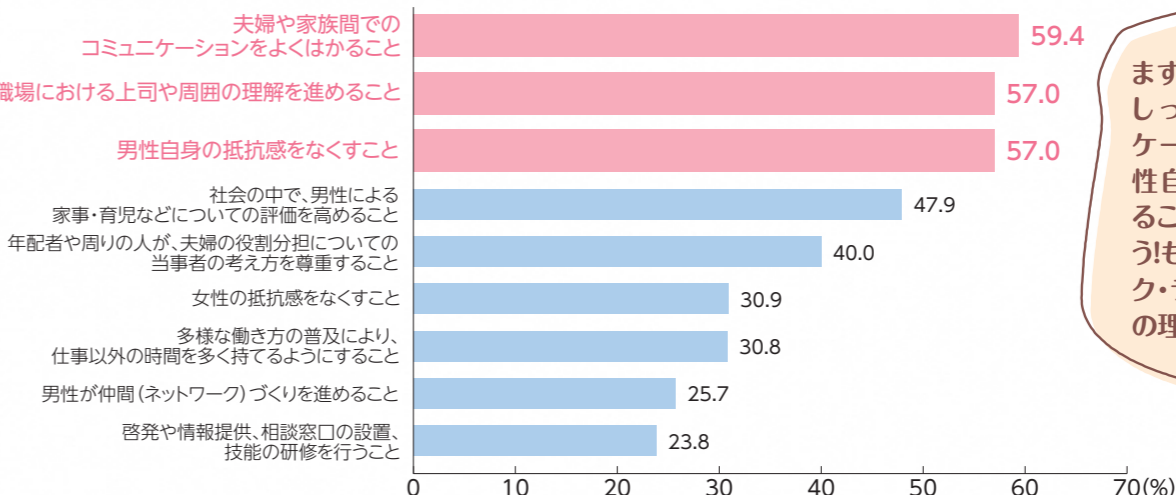


維新だワン!



男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

※内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(2016年9月調査)より



まずは夫婦や家族でしっかりとコミュニケーションを取り、男性自身も気楽に出来ることから始めてみよう!もちろん職場のワーク・ライフ・バランスへの理解も大事だね。



参考:内閣府「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)レポート2017 多様で柔軟な働き方でみんなが変わる。社会が変わる～はじめての一步は男性の家事・育児・介護から!～」

TRY ACTION! 動くことから始めよう!! 動いている市民や職場の情報を紹介!

Interview **かごんぱ** 仕事と生活の調和を目指す!

メンバーの平田翔一さんに聞きました。



▲平田翔一さん(28歳)と息子のいる君(小学1年生)

- Q活動のきっかけは?**
父親として子育て支援情報の交換や共有をできる場が少ないと感じ始めていたときに、父親支援事業を手がけるNPO法人ファザリング・ジャパンを介して「かごんぱ」を知り、今は副代表として活動させてもらっています。お父さん同士の息抜きの場にもなっていますよ。
- Q具体的にはどんな活動を?**
基本的にはお父さんと子供だけでできる遊びや体験をしています。特別なことではなく、自然と触れ合いながら、釣りとか虫取りとか。ピザ作り体験もしましたよ。そういった時間が親子の絆を育むし、お母さんは休息もとれますね。
- Q参加メンバーの意識の変化は?**
男同士の関係で、最初は悩みや弱音を簡単に口に出したりはしない人もいますが、だんだん打ち解けるうちに、家庭での役割みたいなのを相談したり、共有したりしています。
- Qこれからのパパにメッセージを!**
私たちの間では、家事・育児を「手伝う」は禁句です。男性は家事・育児を「やっているつもりで、実はやっていない」ことがまだまだ多いです。かごんぱではこれから間口を広げて、他人との交流が苦手だな...というパパでも気軽に参加できるような仕組みやイベントをやりたいと思っています。



▲現在約40名のメンバーで活動中



▲▶かごしま環境未来館で大型絵本の読み聞かせ



かごんまパパサークル「かごんぱ」事務局 ☎ 099-227-4002

男性維新



職場維新

「誰もが働きやすい職場を目指します!」
【鹿児島市イクボス推進同盟】

※イクボスとは...職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のこと

ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場の環境を作るために全力で取り組むことを誓う企業や団体による「鹿児島市イクボス推進同盟」。この同盟に現在、40(平成30年8月31日現在)の企業や団体が加盟しています。参加企業・団体を広く募集中です!

【加盟企業Pick Up!】

- ◎鹿児島製茶株式会社 **主な取組**
計画的な年休が取得できるように、子供の誕生日などの記念日にメモリアル休暇やリフレッシュ休暇を設置。また、週1回のノー残業デーや短時間正社員制度も導入。平成28年3月に県内で初めて「プラチナくるみん」を取得!
- ◎城山観光株式会社 **主な取組**
パソコン利用時間の制限や半休制度の導入、会議の代理出席容認など、具体的な取組で長時間労働削減と休暇取得促進を行う。「帰りやすい、休みやすい」雰囲気作りでワーク・ライフ・バランスとプライベートの充実を目指す!
- ◎社会福祉法人寿康会 **主な取組**
職員が子育て・介護・地域活動などに時間を割くことを理解し、育休取得者が出ても業務が滞らないような体制を整える。また、福利厚生として事業所内託児所を開設し、低価格での利用や6ヶ月目からの受け入れも可能!

●お問合せ・申込先 鹿児島市子ども政策課 ☎ 099-216-1514



不安を解決! 無料で派遣! 「ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー」を利用しませんか?

仕事と子育てや介護などを両立できる職場環境の整備や就業規則の見直しなどを考えている中小企業等に、アドバイザー(社会保険労務士等)を無料で派遣しています。

- 従業員の働き方を見直したい!
- 若い人に魅力ある職場にしたい!
- 女性社員が辞めてしまってもったいない

- 支援内容
- 回数:1事業所当たり3回まで
- 具体的な相談例:
 - ①ワーク・ライフ・バランスといっても、具体的に何から始めたら良いの?
 - ②就業規則の見直しや社内研修などを実施したい。
 - ③すでに様々な取組をしているけど、実際に従業員がどのように感じているか知りたい。

●お問合せ・申込先 鹿児島市雇用推進課 ☎ 099-216-1325

